

軍艦島資料館

『夕陽と軍艦島が絶景な資料館&リアル感でリピーター倍増』

<改善提案>

施設

- ・2階屋上を含め軍艦島が見えるように整備する
- ・入口がカーブしているので、動線を見直す

使い方

- ・現在ある展示物の充実
- ・観光客への語り部の養成・育成
- ・入場料(200円)は施設規模の割に高いため見直す
- ・物産館の機能を含めた施設の整備
- ・地域の人と観光客が交流する場の提供

市からの回答と 話し合っていたきたいこと

- ①屋上は勾配屋根であり、展望台の設置には多額の費用がかかるため、整備は困難です。
- ②既存施設2階からの軍艦島の眺望を確保することについては、今後の田の子地区の整備計画の状況を踏まえながら検討します。
- ③物産館機能を含めた施設の整備について、皆さんが想定する施設の内容とはどのようなものが考えられますか？
(場所はどこに？広さは？現在の施設はどうするのか？)
- ④展示の内容については、住民の皆さんや関係者の方々の意見を踏まえたうえで、今後検証していきます。
- ⑤田の子地区への入口の整備や動線の見直しについては、今後の整備計画の中で参考にさせていただきます。



総合運動公園水泳プール

『子どもも大人ものんびりゆったり』

<改善提案>

施設

- ・プールではなく幼児が楽しめる水遊び場
- ・砂浜＋施設との間に道を整備＋シャワーを設置

使い方

- ・年輩の方は砂浜ウォーキング、子どもは水遊び
- ・一緒に軍艦島を眺めながらピクニック気分

その他

- ・プールからの脱却を考えた
- ・ハードからソフトへ＋少ない費用をモットー
- ・「田の子沖の島、そこまでたどり着けたら恋が成就」というキャッチフレーズ案も

市からの回答と 話し合っていたきたいこと

- ①野母崎地区には、高浜と脇岬に海水浴場があります。安全面からも田の子で海水浴を促すことになる施設(シャワーなど)を整備することはいかがなものかと考えております。
- ②年輩の方の砂浜ウォーキングの提案と同様に、子ども(幼児)が楽しめる水遊び場としては、砂浜の波打ち際で遊ぶということが考えられないでしょうか？

野母崎ふれあい新港

『いつでも！どこでも！だれでも！』

<改善提案>

施設

- ・現在使われていないが24時間利用できる施設に
- ・宿泊のための機能を設置して合宿所などに利用

使い方

- ・公園や海での釣りなどを楽しめるようにする
- ・子どもが遊んだ後に涼みに来れるようにする
- ・公民館が空いていない時、子ども会、キャンプの時などに使える Free House(自由な家)に

その他

- ・中高生が使えない施設が多いので、中高生から大人まで使える施設にすれば使う人は増える

市からの回答と 話し合っていたきたいこと

- ①ご提案のあったやりたいことや使い方(合宿所、宿泊体験、レクリエーション、キャンプなど)は、別の場所では実施することはできないでしょうか？
- ②もし、今ある施設が使いづらいのであれば、何が問題でしょうか？(今の使い方を見直したらできる場所が見つかりますか？)

野母崎行政センター

『なんでもできる～ちゃんぼんハウス～』

<改善提案>

- 施設
 - ・防災を考えると田の子に移した方が良い
 - ・お年寄りにとってはバス停に近い方が良い
- 使い方
 - ・空きスペースを地域に開放して、バンド練習やダンススクールに利用しても良いのでは

『野母の中心地の田の子へ持ってくる。田の子の時代ズバリ田の子へ！』

<改善提案>

- 施設
 - ・ミニキッチンを付けて健康食の教室など色々な使い方をできるようにする
- 使い方
 - ・休日対応が可能な窓口や会議室を設置し誰もが寄りやすい所にする
- その他
 - ・パスポートの申請など色々な書類の手続きが行政センターには必要
 - ・野母崎の中心である田の子にあった方が良い！

市からの回答と話し合っていたきたいこと

- ①現段階で田の子地区へ移転を検討する場合、新しく建てる考えはありません。既存施設を活用することが前提となります。
- ②田の子に移転したら、集落から離れることとなります。バス停はすぐそばにあります、今の場所よりも、住民の皆さんにとって良くなる点はどういうものがあるのでしょうか。
- ③ミニキッチンの設置による各種教室の開催、バンド練習やダンススクールの開催は、今の行政センターの空き部屋の活用という意味で理解してよいでしょうか？

市営住宅

『野母崎らしく！長崎市の基準を見直そう』

<改善提案>

施設

- ・色々な世代が住める間取りにする
- ・日当たりや交通の便など立地が良い所に建てる
- ・井戸端会議やグループシェアができる場を作る
- ・各戸2台は駐車できるようなスペースを
- ・市が提案する集約と反するが各地区に建てる

使い方

- ・野母崎の現状にあった入居基準、入居料にする
- ・家賃補助を行い若い人に優先的に入ってもらう

その他

- ・ウィークリーマンションのように使えると良い
- ・30年住むと所有可にして大事に住んでもらう

市からの回答と 話し合っていたきたいこと

- ①建替えの際には、多様な世帯構成に対応できるよう複数の住戸タイプを設けています。現在の建替えにおいても実施しております。
- ②集約建替えは、野母崎地区全体の市営住宅を同じ時期に、一斉に建替えるのではなく、段階的に、できるだけまとめて集約していきます。
- ③市営住宅の家賃は、入居者の収入、部屋の広さ等のほか、立地条件も加えて算出していますので、地域に応じた家賃設定となっています。
- ④市営住宅を廃止して、売却する場合は、広く一般から購入者を募る競争入札を原則としています。
- ⑤若い世代が野母崎で新たに住まいを選ぶ際に一番優先する条件は何になるでしょうか？
(交通の便？お店に近い？学校(小中？高？)に近い？その他？)